

新入生合宿研修を終えて

学生支援協力教員 硬組織形態学分野・助教 中 富 満 城

平成24年4月14日(土)、15日(日)の2日間、新潟市西区赤塚のメイワサンピアにて新潟大学歯学部新入生合宿研修が開催されました。この研修は歯学科および口腔生命福祉学科の新入生および3年次編入生を対象として行われるもので、本年度は歯学科47名(3年次編入生6名含む)、口腔生命福祉学科27名(3年次編入生3名含む)の計74名の新入生が参加しました。新入生は五十嵐キャンパスまたは旭町キャンパスに集合し、送迎用のマ

イクロバスに分乗して会場に向かいました。私も引率で同乗しましたが、バスの中では和やかに談笑している学生達もいれば、まだ入学直後という事もあり緊張感が残っている学生達もいるようでした。この合宿を通して緊張がほぐれてくれる事を願しつつ会場に到着しました。現地にて歯学部長・歯学科長・口腔生命福祉学科長をはじめ21名の教職員と学生アシスタントとして2年生の先輩4人が合流し、総勢99名での研修となりました。

【日 程】

4月14日(土)		4月15日(日)	
8:35	歯学部出発(バス)	6:30	起床
9:15	会場到着・写真撮影	7:00	朝食
9:30	全体ガイダンス I	7:45	学生によるガイダンス
10:50	自己研鑽セミナー I	8:15	全体ガイダンス II
12:30	昼食	9:00	BLS 講習
13:30	自己研鑽セミナー II	11:20	閉会式
17:00	入浴・自由時間	12:15	歯学部着・解散
18:15	夕食(クラブ紹介)		
20:00	教員との懇談		
22:00	就寝		

4月14日(土)

メイワサンピアに到着後、すぐに玄関前に集合して記念写真を撮影します(写真1)。その後セミ

ナー室に移動して全体ガイダンス I が始まります。まず前田歯学部長と興地副病院長よりご挨拶を頂き、次いで参加教職員の自己紹介、歯学部の



写真1

カリキュラム説明、全国共用試験の説明、健康管理・学生支援・セクハラ相談についての説明が行われます。新入生達は熱心に耳を傾けていました(写真2、3)。

小休憩を挟んで始まる自己研鑽セミナーⅠでは、新入生が1班9～10名の8班に分かれてグループ討論を行います(写真4)。最初に名札に各自のニックネームを記し、1人ずつ簡単に自己紹介した後、コンセンサス(合意)ゲームに取り組みます(写真5、6)。提示された問題は「砂漠で遭難した際に生き延びる為に12個の所持品に優先順位を付けよ」というものでした。まず各自で1位から12位までの順位を考えた後、グループ内での議論を通して合意を形成し、グループの結論と

して順位付けをします。ここで新入生達は短い時間の中で班の意見をまとめる難しさを体験しました。同時にこのゲームはアイスブレイク(会議や討論の前に簡単なゲーム等を通して参加者同士を打ち解けさせるもの)となり、昼食後の自己研鑽セミナーⅡをスムーズに始める為の良い導入になったように思います。

セミナーⅡのテーマは「歯科医療に携わる者に求められるプロフェッショナリズムとは?」です。①治療は下手でも患者様への対応が懇切丁寧な歯科医師と、②治療は上手だが患者様に無愛想で説明不足な歯科医師が例示され、この2人の長所と短所について様々な角度からグループ内で議論を深めます。最終的に班ごとに「社会に望まれる歯



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6

科医療従事者のプロフェッショナル像」についての意見をまとめ、模造紙に記入して全員の前で発表します。単純に上から理想像を押し付けられるよりも、このように新入生同士での討論を通して自ら目指すべき歯科医師・歯科衛生士の姿を描き出していくというのは非常に有意義な過程だったのではないかと思います。

夕食時には上級生が大挙して乗り込み、クラブ紹介と勧誘が行われます。その後は新入生と教職員との懇談の場が設けられ、大いに親睦が深まった所で初日は終了となります。

4月15日(日)

朝食後に学生アシスタントによるガイダンスとクラス幹事選出があり、その後の全体ガイダンス II では新潟大学のダブルホーム制度等についての説明が行われます。9時からは歯科侵襲管理学分野の瀬尾教授のご指導のもと、意識を失った人への一次救命処置である BLS (Basic Life

Support) の講習が始まります。専用のマネキンを用いて気道確保・人工呼吸・心臓マッサージの実習を行い、更に AED (自動体外式除細動器) の使用方法についても学びます。数年前に歯学部内で患者様が倒れた際に歯学部生が AED を用いて救命処置をした事例があったそうです。いざそのような状況に直面した時に咄嗟に身体が動くかどうかは予備的な経験の有無が大きく効いてくると思います。その意味で新入生にとっては今回の合宿で実際に自分の手を動かして何度も練習する事ができ、大変貴重な機会だったと思います。

BLS 講習を終えると閉会式となり、全日程が無事終了となります。新入生は行きと同様に送迎バスに分乗して五十嵐または旭町への帰途に就きました。帰りのバスの中では行きよりも賑やかに会話が弾んでいるようで、この合宿を通して新入生同士の結束が深まった証左ではないかと喜ばしく思いました。以上簡単ですが今年度の合宿報告とさせていただきます。

